



代っ子通信

令和6年6月25日

<第16号>

校長 平塚智康

授業参観・環境整備作業 ありがとうございました

6月21日（金）、今年度2回目の授業参観とPTA環境整備作業がありました。どのクラスにおいても、子どもたちは先生や友達の話に一生懸命耳を傾け、自分の意見や考えを發表しながら、しっかりと学習に向かう姿が見られました。特に1年生は、この2か月あまりの間に、学びの土台となる規律ある学習態度を身につけ、とても成長した様子が見られ感心しました。

また、暑い中、授業参観後の環境整備作業にご協力いただいた保護者・児童のみなさん、普段なかなか掃除の行き届かない天井や蛍光灯、窓ガラス、手洗い場などすみずみまできれいに掃除していただき本当にありがとうございました。



<1年生>



<2年生>



<3年生>



<4年生>



<5年生>



<6年生>



<みのり学級>



<環境整備作業>

教育実習～子どもの良さを引き出し伸ばせる教師を目指して～

5月20日（月）～6月14日（金）の4週間、本校の卒業生の前田峻佑さんが教育実習に来ていました。指導教員は6の2の竹内教諭で、6の2を中心に授業実習を行いました。そして、6月12日（水）に教育実習の総まとめともいえる研究授業（算数）がありました。

研究授業を参観していて、感心したことがあります。6の2の子どもたちが、いつもの竹内先生の授業以上に、実習生の前田先生の授業を盛り上げようと、そして前田先生の期待に応えようと一生懸命手を挙げたり、発言したりしている姿があったのです。

私はその理由を2つ考えました。1つ目は、竹内先生が日頃から6の2の子どもたちの、持ち前の優しさや思いやりを引き出し伸ばすことを大切にしながら指導しているということです。2つ目は、前田先生がこの4週間、彼なりに一生懸命子どもたちと向き合おうと努力してきたということです。

実習生の前田先生が、最終日に、「がんばって教師になって、みなさんと一緒に働きたいと思います。」と決意を語ってくれ、本当にうれしくたのもしく思いました。

今、全国的に教師を目指す若者がとても減っています。その状況は石川県も同様で、深刻な教師不足が問題になっています。理由は様々あると思いますが、本校卒業生の中から教師を志望する子たちが出てきてくれたことを本当にうれしく思います。前田先生には、近い将来ふるさと加賀市の学校の教壇に立って、教師という仕事のやりがいや喜びを見つけてほしいなあ、と心から祈っています。そして、現在の代っ子たちの中からも、将来教師を目指す子たちが出てきてくれたらうれしいなあと思っています。



<前田先生の研究授業より>



<子どもたちに寄り添いながらの指導>